









ATOMOSU

























eaceSign

ENJIN











八王子活性化プロジェクト2021

「企画表現5」学生による企画プレゼンテーション

デザイン学部3年生必修の地域連携科目「企画表現5」では、 学生たちがこれまでに学んできた企画力や表現力などを活かして 地域の課題を解決する企画提案を行います。

今年度のテーマ

- ▲ 児童館の機能を活かし若者にも魅力ある拠点に
- B「学園都市センター」の学生利用率向上
- € 鹿島・松が谷地域の「まちをつかう」活動
- D 日本遺産「霊気満山 高尾山」活用の仕組み

今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、 プレゼンテーションを撮影・編集した動画を Webサイトにてご覧いただきます。

Webサイトはこちらから! https://kenkyu.hino.meisei-u.ac.jp/k5-2021/







八王子活性化プロジェクト [2021年度のテーマ]

デザイン学部の3年生全員が受講する「企画表現5」では、毎年、地域の課題を解決するデザインに取り組んでいます。取り組み6年目の今年度は、八王子市役所から4つ依頼がありました。市の現状や課題を調査した上で、八王子市の活性化につながる具体的な20の提案を100名を超える学生がおこないます。デザイン学部ならではの企画力と表現力をご覧いただければ幸いです。



児童館の機能を活かし若者にも魅力ある拠点に

八王子市を若者が住み続けたいと思えるようなまちにするために、児童館を若者に魅力ある拠点に作り変える仕掛けを提案します。



鹿島・松が谷地域の「まちをつかう」活動

良好に整備されたまち「多摩ニュータウン 鹿島・松が谷地域」のポテンシャルを 活かして、住民を中心とする「まちをつかう」活動の企画を提案します。



「学園都市センター」の学生利用率向上

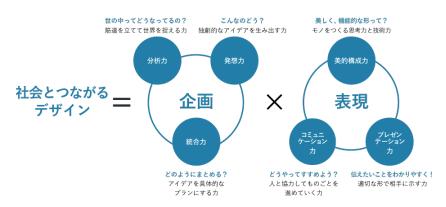
JR八王子駅北ロータリーに隣接する「学園都市センター」。 この施設の学生の利用率を増やす方策を提案します。



日本遺産「霊気満山 高尾山」活用の仕組み

八王子の日本遺産「霊気満山 高尾山 ~人々の祈りが紡ぐ桑都物語~」を 八王子市の活性化のために活用する仕組みを提案します。

明星大学デザイン学部で学ぶ「社会とつながるデザイン力」



最適な方法で人に伝えるための「デザイン」。社会の仕組みを考えるための「デザイン」。美しく機能的な道具を作るための「デザイン」。とト、コト、モノを上手につなげて機能させ、最良の結果を得るために、企画し、表現するのが「デザイン」の本質です。あらゆる事象がめまぐるしく移り変わる現代社会、求められるのは、時代を的確に察知し、自ら問題点を見つけ、独自の解答を導き出せる「デザイン」のチカラ。今後ますます、「デザイン」のチカラが社会で広く求められるようになるでしょう。そこで明星大学デザイン学部では、企画と表現、という大きな軸に沿って、多方向から「デザイン」を学んでいます。